

名 称	鹿沼市小中学校再編計画策定に向けた意見交換会（菊沢地区）について
日 時	令和 6 年 6 月 4 日（火）19 時 00 分～20 時 00 分
場 所	菊沢コミュニティセンター
出席者	参加者：34 名
内容及び 結果等	【意見】 北中の校舎は老朽化が進んでいる。自身が保護者の際にも要望はしていたが、建替えは無理だということを言われた。 板荷中との統合を進める場合、建替え等の対応がないと将来的に厳しいと思うので、きちんと検討をしていただき、子ども達がより良い環境で学べる対応をお願いしたい。 【回答】 校舎の老朽化については、市としても課題と認識しており、市の長寿命化計画の中で優先順位をつけて進めていくものとなる。北中は生徒数も多く、年数も経過していることから、具体的な時期については回答できないものの、今後進めていきたい考えである。
	【質問】 学校の適正規模について、学級数を基準としているが、1学級当たりの人数制限は考えていないのか。 また、骨子に将来の児童生徒数見込みが記載されているが、令和15年度の人数をどのように算出しているのか。 【回答】 1学級当たりの人数について、上限は35名としており、超えた場合は2学級となる。また、下限も設けており、小学1年生を含まない場合2学年で16名以下、小学1年生を含む場合は2学年で8名以下となると複式学級が発生する。 児童生徒数の見込みについては、令和10年の値を現在の町別住民登録の情報から算出しており、令和15年の値は国立社会保障・人口問題研究所が示す鹿沼市の将来推計人口と実際の町別の入学傾向の実績から算出したものである。
	【質問】 骨子p.2の小学校の状況について、楡木小は令和5年現在の児童数が66名で小規模校とされているが、令和15年度の菊沢西小は児童数58名で適正規模とされている。この理由は何か。 【回答】 小学校の小規模校は、複式学級が発生している学校であり、複式学級は基本的に2学年16名以下の場合に発生する。したがって、学校全体の児童数が多かったとしても、人数の偏りによっては、複式学級が発生する基準を満たす場合がある。 現在の楡木小の場合、1学年に2名しかいない学年があるため、複式学級が発生し小規模校となっている。 菊沢西小では、令和15年の児童数見込みでは複式となる学年がないことから、適正規模としている。

	【質問】 学区について、玉田町や武子地区から北小に通う子供がいる聞く。菊沢西小を魅力ある学校にして、遠くから来てもらえるようにするのが一番と考えているが、市として学区の縛りなどをどのように考えているか。 また、統合によってスクールバスの運行が想定されるが、菊沢西小の砂利の駐車場を舗装した方がいいのではないかな。 【回答】 学区については、小規模校の再編を終えた後、検討していきたい考えである。やらないということではなく、順番に対応していくものをご理解いただきたい。 スクールバスについては、新たに運行するにあたって改修等が必要になることは認識している。安全への配慮や雨の日の利用など重要な課題であるため、統合準備委員会の中で話し合い、丁寧に進めていきたいと考えている。 【発言者返答】 少子化が進めば、菊沢西小も再編の対象になるのではないかなという不安がある。 【質問】 資料「学校再編の目的」について、p.2 の中ほどに「現在の子どもたちが生きる社会」や「未来の子どもたちが生きる社会」に関する記載があるが、何か根拠はあるかな。 【回答】 いずれの内容も文部科学省の資料をもとに記載したものである。 ～事務局から事務連絡～ 1 いただいた意見は、全地区終了後、個人情報に配慮した形で HP 上に掲載させていただきます。 2 今後のスケジュールとしては、6月までに全 15 地区の地域住民向け意見交換会を実施し、7月からはいただいた意見を踏まえた検討、9月にパブリックコメントの実施、10月に計画策定を目指している。 3 計画策定後は、改めて地域に訪問して説明を予定している。 <閉会>20:00
配布資料	・学校再編の目的 ・小中一貫教育について ・鹿沼市小中学校再編計画骨子及び鹿沼市の小中学校の配置図 ・アンケート用紙